

平成28年度第2回（第29回）

3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会

日時：平成28年5月14日 PM6：30～9：10

場所：桜が丘市民会館

出席者：別途（衛生組合作成議事録による）

A. 施設建設の部

1. 序

標題の通り平成28年度第2回会議を開催した。

2. 参考資料

本日の打ち合わせには以下資料を使用した。

- (1) 標題次第
- (2) (仮称)3市共同資源物処理施設実施計画段階のイメージパース
- (3) 計量差のシミュレーション
- (4) (仮称)3市共同資源物処理施設整備工事提案図書作成条件書
- (5) (仮称)3市共同資源物処理施設整備工事提案図書作成条件書 別添資料
- (6) 懸案事項確認書（施設建設の部）

3. 議事進行

3.1. アンケートの取り扱い

- (1) 集計結果の説明
- (2) 集計結果は紙コピーで参加者に配布

3.2. 衛生組合のホームページの表記方法（会議録）（森口）

「会議結果」としての表現があるが、未検討／未回答事項はその旨の表現取り扱いをして戴きたい。

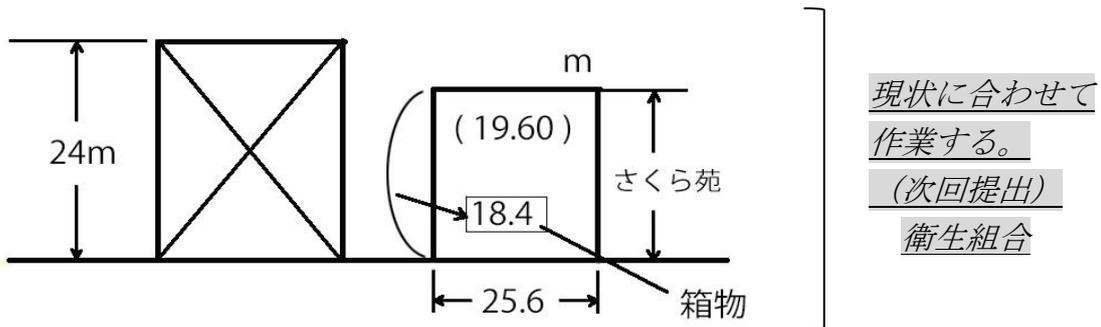
- ・表現について調整します。松本
(結果の表現・・・)

3.3. 板書議事録の取り扱い（片山／森口／岡田／松本）

誤字など以外の修正は行わず、問題がある場合は次回打ち合わせで訂正する。

3.4. 建物のイメージ図（伊藤）

提出のイメージパースを参考にして下さい。



3.5. 計量差のシミュレーション (伊藤)

- (1) 2(3)項の資料による。
風袋：ガソリン満タン+運転手 登録値
- (2) 比留間運送で計量した値
- (3) 1 5 3 6車：要調査 (次回回答) 他の車より重たい
- (4) 燃料タンク容量の調査 (次回回答) 松本
(車別に) 次回回答
- (5) 計量機の誤差：10kg単位/毎(公差)調査

3.6. 懸案事項確認表 (施設建設の部) (岡田)

- (1) 衛生組合 / 3市協力します。
(2(6)項の資料)
- (2) 追加があれば提案をお願いします。

3.7. プラスチック容器の分別の推進 (小平市資料) (4 / 9分) (山崎)

- (1) 「組成分析結果について」山崎さんがまとめた Report の報告がされました。
- (2) 不適合品の量が判らないのに50%資源化の根拠が不明。
この点を明らかにしないとプラ工場の処理能力についても再検討が必要?
(ゴミ量の規模の明確化が必要ではないか)
- (3) 1回のみ調査で良いのか?
可燃物 → 硬質プラ混入
不燃物 → 軟質プラ混入
Total で 3200 t 位あるのではないかと
全プラ
- (4) 6/7項の根拠の説明を文書回答でお願いしたい。
(回答：衛生組合) → 50%とすると 1600 t となる
→ 容リプラの予測値!!

(5) 8/9 項の質問への回答 (衛生組合) 文書回答でお願いしたい。

(6) 小平市の組成分析作業 (小平市)

小平市のゴミ減量の為の基本資料として測定でプラ工場建設の為の目的でなかった。
現状の小平の施設では軟プラまで処理出来ないなので、新たな工場が必要と理解して
いる。

50%については、軟質100%、硬質70%が燃やされているが、ほぼこの50%
位ではないかと推定する。

5H: 3.75 t/day : 処理 (硬質プラスチック)
5H: 1,099 t/年 : 昨年度 (フル稼働)

これ以上の能力はないので新工場が必要

(7) 人口

(a) 東大和市 }
武蔵村山市 } \div 小平市 = total 量

(b) 有料化が必須条件か? (三市同一基準の早期実現化)
早期実現をお願いしたい。

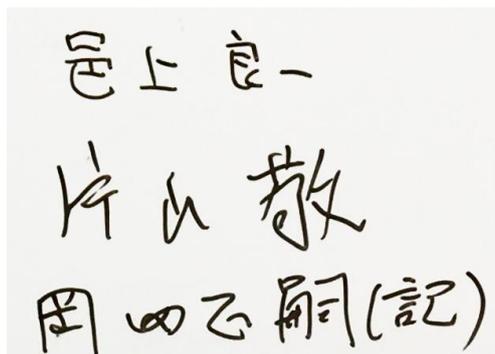
◎生活レベルの差?? (ゴミ量の相違がどこにあるのか)

3.8. 次回 Meeting

2(4)項資料の説明を基本とする。

次回 Meeting : 6月11日 PM6:30

サイン



邑上良一
片山敬
岡田正嗣(記)